

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	鼻中隔外鼻形成術の術後調査		
1. 研究の目的と方法	鼻閉の原因となる鼻中隔彎曲症は内視鏡を用いた鼻中隔矯正術が広く行われています。しかし、激しい鼻中隔彎曲や鼻中隔の前方、上方部分の彎曲は内視鏡手術での矯正が難しいため鼻の皮膚を切って外鼻を展開する鼻中隔外鼻形成術を行うこととなります。この手術はまだ日本であまり普及していません。本研究は、当院での今までの鼻中隔外鼻形成術の術後成績や合併症の発生、手術で治しにくい因子を調査することでさらなる術式の発展を目指すとともに、日本全国でのこの手術の普及を目指す目的で行われます。また、手術の成功率や合併症発生率を明らかにすることで今後この手術を受ける予定の患者さんの不安の軽減につながると考えています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	対象となる方：2017年4月1日から2026年3月31日までの期間に、東京慈恵会医科大学附属病院で鼻中隔外鼻形成術を受けた16歳以上の患者		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身長、体重、顔面外傷歴、既往歴、合併症、喫煙歴、治療歴（手術）、鼻症状アンケート、J-SCHNOS、副鼻腔CT検査、副鼻腔MRI検査（施行されている場合）、外鼻写真、手術記録、手術動画	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科教室
		氏名	由井亮輔
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科講座 森 恵莉	
(4) 共同で研究	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	を実施する 施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て		この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2021年8月頃～
【問い合わせ先】		機関名：東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科教室 研究責任者：助教 由井 亮輔（ゆい りょうすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線：9359） 対応時間：平日：9:00 ～ 16:00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。